



わかあゆ 2022

～吾こそが知性のペンを磨きゆく～

佐世保市立柚木中学校 学校だより
《令和4年1月2号》
文責：校長 埋ノ江 章
令和4年1月7日（金）
今日は何の日：七草粥の日 人日の節句
千円札の日(1950) 爪切りの日 等

柚木中精神：校門の第一歩は 学習の第一歩
学校教育目標：心豊かで 自ら学ぶ たくましい生徒の育成
めざす生徒像：思いやりのある生徒 意欲的に取り組む生徒 わばり強くやり抜く生徒
三無一礼：無言清掃 無言配膳 無言整列 校門での一礼
一校一徳運動スローガン：Let's Greet! ～笑顔の花を咲かせよう～

生徒会スローガン：Draw tomorrow! ～明日を描こう!～

～ 学校・家庭・地域共通の子育て目標 ～
いつでも・どこでも・誰にでも、あいさつができる柚木っ子の育成

今日で「松の内」が終わりを迎えます ～ 年末年始はさまざまな仕来りがある ～

今年の年明けも勉強させてもらえる機会がありました。「正月三が日」と「松の内」の違いが分かっているか？という問いかけに対して、即答することができない場面を経験しました。

「正月三が日」は、読んで字のごとくで1月1日から3日までのことを指し、「松の内」は1月7日までのことを言うものだと思っていました。単なる「期間」を指すものだという程度でしか捉えていませんでした。

しかし、そこには古来より日本に伝わる伝統文化や習慣、仕来りというものと密接に関わっていることを再度学び直すことになりました。生徒のみなさんはどれほどまでの理解があったのでしょうか？

日々の生活が便利になり、同時に季節感が薄らいできた現代において、日本独自の伝統文化や習慣、仕来りを重んじることが少なくなってきた背景や国際化の影響による生活習慣の大きな変化もあり、古き良き時代が過去のものとなってきているのかもしれない。一度、「正月三が日」と「松の内」の違いを自分で検索してみることも「学び」を深めるきっかけになるかもしれませんよ！

私が確認したことの一部を紹介しておきますが、さらに詳しく調べてみてくださいね！

「松の内」とは、お正月にやってくる年神様の依り代である松を飾っておく期間のことを指します。

お正月とは先祖である年神様をお迎えして、一年の安寧と無病息災を願い、お祝いする日本古来の行事です。先祖である年神様は家々に飾ってある松の枝を頼りに帰ってきます。そしてその松はそのままお正月の間の年神様の依り代にもなります。松の内とは年神様が滞在している期間を意味します。

それから今日は「爪切りの日」だということも知ってましたか？

1月7日は「新年になって初めて爪を切る日」だそうです。この日に「春の七草」を浸した水に爪をつけ、柔らかくして切るとその年は風邪をひかないと言われていたそうです。このことも知らなかった私は、4日に爪を切ってしまいました。来年は7日に爪を切ろうと思います。

「ゲームと勉強の共通点」～ プロゲーマー「すいのこ」さんの話 ～

新春1回目の朝日中高生新聞の「エンスタナビ」では、子どもが将来になりたい職業のひとつ「プロゲーマー」の「すいのこ」さんがeスポーツでプロ選手としてゲームに強くなる方法と勉強に取り組むことの共通点を説明してくれています。校長室前の掲示板にコピーを張り出していますので、大いに参考にしてくださいね！

もちろん、しっかりと自分でその記事の内容を読み取り、理解を深めるためにはまず読解力と判断力を高める必要があることも忘れないで欲しいと思っています。

共通点として「課題を発見、適切な解決法を選ぶ」ことと見出しには書いてありますが、自分で記事内容を熟読することをお勧めします。

何事においても共通して言えることですが、中途半端な理解と取組に終始しているとホンモノにはならないということも理解しておいてくださいね！

来週11日(火)から後期後半の学校生活が始まります!!

例年より3日も休みが長かった「冬休み」も終わり、11日(火)からは学校生活が再開します。

「心」と「時間」にゆとりを持って元気よく登校して来てくれることを待っていますよ！もう一度、休み明けの計画を見直しておいてください。忘れ物などないようにしっかり前日に準備を終わらせておくことが肝心です。

*今日のことわざ：朝の来ない夜はない